

令和7年度 自己評価計画

石川県立金沢中央高等学校昼間制

重点目標		具体的取組	主担当	現状	評価の観点	実現状況の達成度判定基準	評価の基準	備考
1	生徒の実情に応じた学び直しによる基礎学力の定着を確かなものとするとともに、ICT活用、アクティブラーニング、ユニバーサルデザイン化等を推進することで学力向上を図る。	○教職員が、1人1台の端末を有効に活用した指導を行い、生徒個々の興味・関心を高め、学力向上を図る。	教務課	・生徒1人1台端末が定着し保管の整備も進んでいる。教職員の授業での有効活用が、今後も課題である。	【成果指標】 ・生徒用端末を授業で活用したことがある教員数が増加している。	○生徒用端末を授業で活用したことがある教職員数が全授業担当者を分母として A 80%以上である。 B 75%以上80%未満である。 C 70%以上75%未満である。 D 70%未満である。	C・Dの場合原因を分析し、取組を再検討	○5月、2月に調査
		○教職員が、学習習慣を定着させる指導及び授業の出席を促す指導を徹底し、生徒の授業に取り組む意識を向上させる。	生徒指導課	・令和6年度は、無断早退や授業遅刻を繰り返す生徒や授業の出席条件を満たさない生徒が常在した。引き続き授業への出席ルールを遵守させる指導の徹底が、必要である。	【成果指標】 ・授業の出席を促す指導の対象生徒数が減少している。	○授業出席を促す指導の対象生徒数が A 10名以下である。 B 11名以上25名以下である。 C 26名以上35名以下である。 D 36名以上である。	C・Dの場合原因を分析し、取組を再検討	○2月末に集計
2	卒業までを見通したキャリア教育に組織的に取り組み、生徒の希望進路を実現する。	○卒業生全員の進路実現のため、「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」「LH」等の授業の中で、コミュニケーション能力、思考力・判断力の育成を図る。	進路課 学年	・進学に対して高い目標を掲げ、その実現に向けて取り組んでいる生徒が増えている。また、昨今の経済状況から、就職内定率も高い数値になっている。	【成果指標】 ・年度末には全卒業生の希望する進路先が内定している。	○年度末における全卒業生の進路内定率が A 90%以上である。 B 80%以上90%未満である。 C 75%以上80%未満である。 D 80%未満である。	C・Dの場合原因を分析し、取組を再検討	○3月に調査
		○生徒が、進路の目標をできるだけ早い時期に設定できるようにキャリア教育を進め、望ましい職業観と社会性の育成を図る。 ○年度末に卒業予定の生徒が、遅くとも6月には進路目標を持ってるように指導する。また、6月に進路目標を持ってなかった生徒には継続的に指導する。	進路課 学年	・近年、卒業年度になっても具体的な目標が定まらない生徒が一定数存在する。キャリア教育の観点からも、卒業後の生き方や、あるべき姿について、自分の事として受けとめ、主体的に考える力を身につける必要がある。	【成果指標】 ・年度末には卒業予定の生徒が、個々の実情に合った納得のいく進路選択を行うことができる。	○年度末に卒業予定の生徒で、進路目標を持つものの割合が A 90%以上である。 B 75%以上90%未満である。 C 70%以上75%未満である。 D 70%未満である。	C・Dの場合原因を分析し、取組を再検討	○6月、11月に調査
3	規範意識・防災意識の育成、教育支援の充実、外部機関との連携により安心安全な学校づくりを推進する。	○教職員は、広報活動をより充実させるため、ホームページによる情報発信に取り組み保護者や地域に開かれた学校づくりを推進する。これにより、保護者に学校の様子を把握してもらう。	総務課	・ホームページや学校メール・電話連絡等の手段も含め、より一層、保護者からの要望集約や保護者との密な連絡調整、情報発信が必要になってきている。	【成果指標】 ・ホームページ閲覧数の増加、学校メール配信やホームページによる行事予定や授業内容の情報を発信する。	○昨年のホームページ閲覧数(38172件)の A 100%以上である。 B 80%以上85%未満である。 C 60%以上75%未満である。 D 50%未満である。	C・Dの場合原因を分析し、取組を再検討	○6月、9月、12月に調査
		○教職員は、「どの生徒も、いじめの被害者にも加害者にもなりうる」という基本認識を十分にふまえた指導を行う。本校の「いじめ防止基本方針」に基づく取組を確実に実施することで、いじめの発生を防ぐ。	生徒指導課	・令和6年度は、生徒アンケートでは1件、保護者からの相談による1件、校内での生徒同士のけんかによる1件の併せて3件のいじめを認知した。個別の面談や集会等を通じて、いじめの防止、早期発見に一層努める必要がある。	【成果指標】 ・いじめが発生しない。	○いじめの発生件数が A 重大事案が0件かつ認知件数が0件である。 B 重大事案が0件かつ認知件数が5件以下である。 C 重大事案が0件かつ認知件数が6件以上10件以下である。 D 重大事案が1件以上または認知件数が11件以上である	C・Dの場合原因を分析し、取組を再検討	○9月末、1月末に集計
		○ゴミの分別や節電の意識を持ち、校内の省エネ活動に取り組む主体性を育む。	保健課	・ゴミの分別については、学務員の方々の協力もあり、校内美化が保たれている。しかし、エアコンや照明の消灯に関しては、改善の余地がある。	【成果指標】 ・分別や節電の意識をもち、校内の省エネ活動に取り組むことができる。	○自ら分別や節電を意識している生徒が A 95%以上である。 B 85%以上95%未満である。 C 75%以上85%未満である。 D 75%未満である。	C・Dの場合原因を分析し、取組により再検討	○9月、1月に調査
		○効果的な支援を実践するために、学年会、養護教諭、外部機関等との連携による組織的支援体制を整備し対象生徒を適時に支援する。	保健課 相談室	・令和6年度は、個別の教育支援計画作成会後の調査で、目標を立てることが「できる」「まあまあできる」と回答した教職員は89.0%であった。	【努力指標】 ・教職員が、生徒の困り感に気づき、周り情報共有することができる。	○教職員が、生徒の困り感に気づき、周り情報共有することができる。 A 95%以上である。 B 85%以上95%未満である。 C 75%以上85%未満である。 D 75%未満である。	C・Dの場合原因を分析し、取組を再検討	○7月、1月に調査
4	スポーツ活動や文化活動、ボランティア活動等とおして自主・自立・助け合いの精神を備えた活力ある生徒を育成する。	○部活動紹介や一斉活動日を通じて、生徒に活動内容を具体的に伝え、積極的な参加を呼びかける。	生徒会課	・令和6年度は、春から秋にかけて部活動加入率が1.8%増加した。運動部と文化部の加入率が逆転している。	【成果指標】 ・生徒が興味関心のある部活動に加入している。	○部活動に加入している生徒の割合が A 45%以上である。 B 35%以上45%未満である。 C 30%以上35%未満である。 D 30%未満である。	C・Dの場合原因を分析し、取組を再検討	○5月、10月に集計
		○オリエンテーションや全校集会時に、生徒会活動や学校行事等について、分かりやすく説明し、興味・関心を持たせ主体的な参加を促す。	生徒会課	・体育祭や文化祭などの全ての学校行事に魅力を感じ、主体的に参加したいと思える工夫を重ねながら、運営しPDCAにより精進していく必要がある。	【満足度指標】 ・生徒が、生徒会活動や学校行事に満足している。	○生徒会活動・学校行事に対する生徒の満足度が A 80%以上である。 B 70%以上80%未満である。 C 60%以上70%未満である。 D 60%未満である。	C・Dの場合原因を分析し、取組を再検討	○10月、11月に調査
5	発達障害による困難さを抱える生徒を対象に、通級指導などによる自立活動を通して、自尊感情を高めるとともに、障害の改善または克服を目指す。	○通級指導を担当する教職員や外部講師等から自立活動の指導法や支援について学ぶ。これを生かし、発達障害のある生徒が学習上・生活上の困難さを改善克服できるよう取り組む。	通級指導推進	・令和6年度は、通級担当者と担任の情報共有や支援環境、連携などを組織的に取り組むことで、生徒が安心して過ごすことができる環境の提供ができた。	【成果指標】 ・教職員が、発達障害のある生徒に関わり、個に応じた具体的な支援の場面をもつことができる。	○発達障害のある生徒に関わり、個に応じた具体的な支援の場面をもつことができたとする教職員の割合が A 90%以上である。 B 80%以上90%未満である。 C 70%以上80%未満である。 D 70%未満である。	C・Dの場合原因を分析し、取組を再検討	○7月、1月に調査
6	効率的かつ効果的な業務遂行のため、組織的な業務改善に努める。	○業務の見直し組織的な運営・業務遂行の効率化、職員のワークバランスを意識して教育活動の充実に努める。	教頭	・教職員に求められる業務が、多種多様であり負担が大きい。組織的な運営や業務遂行の働き方の改革に対する意識を高めワークライフバランスを実践する必要がある。	【努力指標】 ・ワークライフバランスを意識し時間外勤務時間の縮減に努める。	○時間外勤務時間の縮減に努めることができた教職員の割合が A 80%である。 B 70%以上80%未満である。 C 60%以上70%未満である。 D 60%未満である。	Dの場合原因を分析し、取組を再検討	○7月、1月に調査